

7月定例記者会見 市長原稿

それでは、7月の定例記者会見を始めます。

はじめに、昨日、7月 28 日に熊本県熊本地方を震源とする地震が発生し、最大震度7を観測したとの報に接しました。

被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、今なお被災されている方の一刻も早い救命・救助と、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

今後も余震等への警戒が必要とされておりますが、被災地域の皆様の安全が確保されることを、切に願っております。

さて、7月 20 日に関東地方の梅雨明けが発表されて以降、連日厳しい暑さが続いております。

今年の夏も昨年に続き、全国的に平年を上回る気温が予想されており、7月下旬から8月上旬にかけては、「ダブル高気圧」の影響により、暑さのピークを迎える見込みです。

稲敷広域消防管内においても、7月以降、熱中症による救急搬送が増加しており、今後さらに警戒が必要な状況となっています。

市民の皆様には、こまめな水分・塩分補給や適切なエアコンの使用を心掛けていただくとともに、外出時には市内公共施設などに開設しているクーリングシェルターも活用しながら、熱中症予防に努めていただきたいと思います。

市といたしましても、注意喚起やクーリングシェルターの周知を進め、市民の皆様が安全・安心に夏を過ごせるよう取り組んでまいります。

さて、こうした厳しい暑さの中ではありましたが、先週7月 24 日から 26 日にかけて恒例の「龍ヶ崎の祭り」が開催されました。

「龍ヶ崎の祭り」は、地域に受け継がれてきた歴史や文化を再認識するとともに、多くの市民がふるさとへの誇りと愛着を共有する、本市にとって大変重要な行事です。

祭りの熱気が最高潮に達する最終日に行われた国選択・県指定無形民俗文化財の「撞舞」には、今年も市内外から大勢の来場者にお越しいただきました。

昨年に続き2度目となる、大石浩司さん、小菅真幸さん、お二人によるピタリと息の合った演技は、日々の修練と確かな信頼関係により洗練の度合いを増し、地上 14 メートルで繰り広げられる逆立ちなどの大技が披露されるたびに、会場から大きな歓声と拍手が送られていました。

そして、撞舞が無事に終わった直後には、まるでその雨乞いの効果が現れたかのように、空模様が一変し、会場周辺では土砂降りの雨となりました。まるで撞舞の雨乞いの伝承を思い起こさせるような天候の変化で、古くから受け継がれてきた物語と重ね合わせて印象深い場面となりました。

450年以上の昔から続く、五穀豊穡、疫病退散などの人々の願いにも触れる機会となり、龍ヶ崎ならではの歴史と文化の奥深さを感じていただけたものと思います。

今後も、この伝統ある「撞舞」をはじめとする地域の宝を次世代へと確実に保存・継承していくとともに、その歴史的価値や独自の魅力を市内外へさらに広くアピールしてまいりたいと考えております。

市民の皆様、そして報道関係の皆様には、今後とも本市の伝統文化の継承・振興にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、本日の情報提供に入ります。

はじめに、龍ヶ崎市女性会議「わたし×まちラボ」についての情報提供です。

本市では、18歳から22歳までの大学生を中心とした世代の女性を対象とした、龍ヶ崎市女性会議「わたし×まちラボ」を開催いたします。第1回会議を8月7日に開催し、全5回にわたり実施する予定です。

この会議は、若い女性の視点や発想を生かしたまちの魅力発信や新たなイベントの創出を目的として開催するものです。

令和6年度と令和7年度に本市で実施した「WOMANトーク」では、若い女性の皆さんから龍ヶ崎市に求めるものについて多くのご提言をいただきました。今回の会議は、それらの提言を具体的な事業や取り組みにつなげるために実施するものです。

会議では、「WOMANトーク」でいただいた提言の中から4つのテーマを抽出し、これらをもとに、龍ヶ崎市の魅力発信や新たなイベントなどの企画立案に取り組んでいただきます。

テーマは、「学生が企画段階から参加できる駅前イベントが欲しい」、「気軽に参加しやすい地元企業との就活イベントを開催してほしい」、「龍ヶ崎市の魅力をSNSでもっと発信してはどうか」、「龍ヶ崎の食材を生かした取り組みをしてはどうか」の4つです。

参加者は25人を予定しており、アドバイザーとしてイセデリカ株式会社、株式会社クラウドファンディングデザイン、そして龍ヶ崎市食と農のアンバサダーである三好沙織さんにご協力^{ぐたいか}いただきながら、企画内容の具体化を進めてまいります。

最終回となる第5回会議では、参加者による企画案のプレゼンテーション形式のコンペティションを実施し、優秀賞に選ばれた企画については、令和9年度事業として実際の事業化を予定しております。

若い女性ならではの柔軟な発想や行動力により、これまで気づかなかった龍ヶ崎の魅力や新たな価値が生み出されることを期待しております。また、この取り組みを通じて、若い世代がまちづくりに主体的に関わるきっかけとなり、龍ヶ崎への愛着や誇りを深めていただければと考えております。

次に、「2026 たつのこスポーツフェスティバル」についての情報提供です。

本市では、8月7日(金)、市総合運動公園・ニューライフアリーナ龍ヶ崎と TOKIWA スタジアム龍ヶ崎で「2026 たつのこスポーツフェスティバル」を開催いたします。

本イベントは、スポーツに親しむきっかけづくりや、総合運動公園のさらなるにぎわいの創出を目的に、総合運動公園の指定管理者を構成するクラブ・ドラゴンズと連携して実施するもので、初めての開催となります。

ニューライフアリーナ龍ケ崎では、東京オリンピックのフェンシング男子エペ団体に金メダルを獲得したフェンシング元日本代表の宇山賢氏をゲストにお迎えし、どなたでも気軽に楽しめるスマートフェンシング体験会を実施いたします。

トップアスリートとの交流を通じて、スポーツの楽しさや魅力を体感していただける貴重な機会になるものと考えております。

また、TOKIWA スタジアム龍ケ崎では、大型スコアボードを活用し、人気キャラクター『すみっコぐらし』の映画上映会を実施いたします。あわせて、キッチンカーや縁日コーナーも出店し、ご家族連れをはじめ、多くの皆さまに楽しんでいただける内容となっております。

本イベントを通じて、総合運動公園がスポーツ施設としてだけでなく、多くの人が集い交流する場として、より身近で魅力ある施設となることを期待しております。

また、令和7年度にリニューアルした大型スコアボードについても、スポーツ観戦以外のさまざまな活用方法を知っていただく機会になればと考えております。

ぜひ多くの皆さまにご来場いただき、総合運動公園の新たな魅力を体感していただければと思います。

最後に、「たつのこワクワクワーク」に関する情報提供です。

本市では、夏休み期間中の8月20日から8月30日まで、こども達が、地域で働く人々とふれあいながら、さまざまな仕事を体験できる「たつのこワクワクワーク」を開催いたします。開催は今回で5回目となります。

こども達に、地域の仕事や働く人々への理解を深めてもらうとともに、働くことの楽しさや大切さを学ぶ機会を提供することが目的で、地域とのつながりを育み、将来の夢や目標を考えるきっかけづくりにもつなげたいと考えております。

今年度は、参加者アンケートで要望が多かった「病院のお仕事」を新たに加えたほか、協力事業者を昨年度の20から22に増やし、消防士や結婚式場の仕事、議会の仕事などの多彩なプログラムを用意いたしました。

また、お仕事体験に参加したこども達には、仕事の報酬として500円分のプリペイドカードをお渡しします。地域で働く方々との交流や仕事の体験、そして報酬を受け取る経験を通じて、働くことの意義や地域社会とのつながりについて学んでいただければと考えております。

本事業の実施に当たりましては、多くの事業者の皆さまに趣旨をご理解いただき、貴重な体験の場をご提供いただいております。この場をお借りして、あらためて感謝申し上げます。

なお、報道機関の皆さま向けの取材機会として、「議会のお仕事」と「病院のお仕事」の2つのプログラムを公開いたします。

「議会のお仕事」は8月20日・木曜日、午後1時30分から市役所議会事務局で、「病院のお仕事」は8月24日・月曜日、午後2時から龍ケ崎済生会病院で実施いたします。

報道機関の皆さまにおかれましては、地域で働く人々とふれあいながら、真剣に仕事に取り組む子ども達の姿をぜひ取材いただきたいと思います。

私からの情報提供は以上となります。